

第8回 高麗郡公開歴史講演会

古代の武蔵と朝鮮半島 そして高麗郡

講師：岡山理科大学名誉教授
亀田修一

武蔵国

高麗郡



①軒丸瓦と軒平瓦（日高市女影廃寺若宮遺跡出土）②旗付き馬形埴輪（埼玉古墳群付近・酒巻14号墳出土）③鬼瓦（日高市大寺廃寺出土）※提供：①③日高市教育委員会、②行田市郷土博物館

古代の武蔵国には朝鮮半島との関わりを示す遺物が多く出土しています

2022年 7月3日 日
13:30～16:30

会場 日高市総合福祉センター「高麗の郷」1F研修室

感染予防にご理解ご協力を

- ・当日で体調のすぐれない方はご参加になれません。
- ・マスク着用でお越しください。検温、手指消毒等にご協力ください。
- ・会場では換気、対人距離などを保つよう実施いたします。
- ・新型コロナウイルスの関係で、内容等が急遽変更または中止になる場合もございます。

Program

13:00 受付開始
13:30 開会 主催者あいさつ
13:45 **講演**
古代の武蔵と朝鮮半島、そして高麗郡
講師 亀田修一（岡山理科大学名誉教授）
15:15 休憩
15:30 **鼎談（トークセッション）**
朝鮮半島と古代武蔵国、
そして高麗郡を考える！
講師 亀田修一
コーディネーター 須田 勉（日本高麗浪漫学会会長）
コメンテーター 加藤 恭朗（日本高麗浪漫学会研究員）
16:30 まとめ（荒井 秀規 日本高麗浪漫学会副会長） 閉会

定員 70名（申し込み先着順）
参加費（資料代等） 高麗1300会員 500円 一般（会員外）1,000円
申込み 6月2日（木）より高麗1300へ次の①～④のいずれかで。先着順に受け付けます（お名前・連絡先・住所等）。
①ホームページ <http://komagun.jp> トピックス記事「申込みフォーム」から
②E-mail info@komagun.jp
③電話 042-978-7432（不在の場合あり）
④FAX 042-978-7452

主催：日本高麗浪漫学会／高麗1300
企画：日本高麗浪漫学会企画運営委員会 後援：日高市教育委員会



講師：亀田 修一（かめだしゅういち）

岡山理科大学名誉教授

専門分野：日本考古学（古代の日韓関係、
渡来人、古代山城、古代寺院など）

1953年、福岡県生まれ。1976年、九州大学文学部卒業、同大学院修士課程入学後、1977～1979年、大韓民国忠南大学校に留学。1980年、九州大学大学院修士課程修了後、岡山理科大学助手として採用される。その後、岡山理科大学生物地球学部教授となり、2022年3月、定年退職。同年4月からは特任教授・名誉教授。

〔おもな研究分野〕

古代の日韓関係、渡来人、古代山城、古代寺院、吉備の考古学など。

〔おもな著書〕

『考古資料大観 第3巻 弥生・古墳時代 土器Ⅲ』2003年、小学館（編著）

『日韓古代瓦の研究』2006年、吉川弘文館（単著）

『吉備の古代寺院』2006年、吉備人出版（共著）

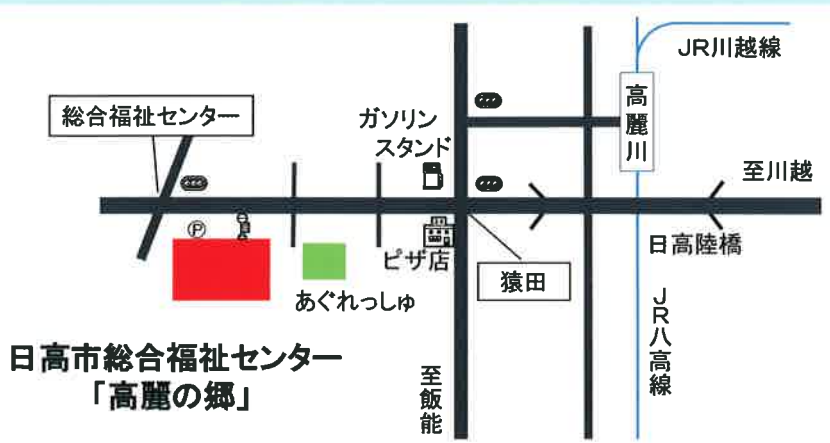
『古墳時代研究の現状と課題（上・下）』2012年、同成社（共編著）

『講座 考古学と関連科学』2022年、雄山閣（共編著）

講師からのメッセージ

講演テーマ： 古代の武蔵と朝鮮半島、そして高麗郡

今回の講演では、古墳時代から奈良時代の武蔵と朝鮮半島の関わり、そして高麗郡についてお話しします。古代武蔵には有名な埼玉稲荷山古墳を含む埼玉古墳群があり、その遺物には朝鮮半島との関わりを示すものが多く含まれています。このような朝鮮半島との関わりは首長たちの墓だけでなく、そのほかの古墳や集落、生産遺跡などでも見ることができます。そして716年に東国の各地にいた高句麗系の人々を集めて現在の日高市・飯能市などの地域に高麗郡が設置されます。今回の講演では、おもに朝鮮半島系考古資料を取り上げ、「渡来人」を意識しつつ、お話をしたいと思います。



【会場】

日高市総合福祉センター「高麗の郷」

埼玉県日高市榎木（にれぎ）201

☎042-985-9988

- ・JR八高線 川越線 高麗川駅より徒歩約15分
- ・高麗川駅から国際興業バス「飯能駅行」に乗車、「総合福祉センター前」下車
- ・お車の場合、無料駐車場あり
※臨時駐車場をご利用いただく場合があります

【お問い合わせ】 高麗1300（日本高麗浪漫学会）事務局

☎042-978-7432 〒350-1243 埼玉県日高市新堀 855-3

E-mail info@komagun.jp ホームページ <http://komagun.jp>